



# ひだまり便り

第73号 (令和5年6月号)  
特定非営利活動法人  
ひだまり  
理事長 平井紳一

特定非営利活動法人ひだまり事務所…〒263-0005 千葉県稲毛区長沼町32番地

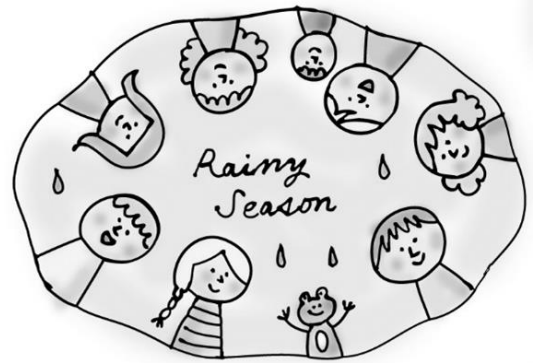
TEL 043-258-8604 FAX 043-310-5061

E-mail…[hidamari@almond.ocn.ne.jp](mailto:hidamari@almond.ocn.ne.jp) ホームページ… <https://www.hidamari.or.jp>

## 令和5年度ひだまり通常総会を開催しました

5月28日、NPO ひだまりの令和5年度通常総会が開催されました。ここ数年コロナ禍の影響で書面議決にて総会が執り行われてきましたが、久しぶりの対面での総会となり、令和4年度の事業報告、決算及び5年度の事業計画、予算が賛成多数で承認されました。

令和5年度も『知的発達障害を持つ人自身の意思と個性を尊重し、自立的生活への一助となるよう支援することを基本とする。』を基本方針として事業を進めて参ります。



## ひだまり賛助会員大募集!



ひだまりが運営する障害福祉サービス事業メープルリーフは、利用するご本人が会員として「ひだまり」と契約を結び利用します。また、ご利用者の保護者の方には賛助会員としてひだまり支援をお願いしています。更にメープルリーフを利用しない父の樹会会員の方にも賛助会員加入の呼びかけを行っています。

ここ数年の新型コロナウイルス蔓延の影響で、支援活動の制約、収支の悪化など事業経営は大変厳しい状態にあります。当法人の理念、活動にご賛同いただける方は、賛助会員にご加入頂ければ大変有難く存じます。ご協力いただける方は、ひだまり事務所までご連絡ください。

- ◆ 賛助会費 …… 一口 3,000 円から何口でも結構です。(一年間)
- ◆ 振込先 …… ゆうちょ銀行 【口座番号】00110-3-739401  
【口座名称】特定非営利活動法人ひだまり
- ◆ 連絡先 …… ひだまり事務所 山本・久保井 Tel:043-258-8604

\* 振込用紙を添付しましたのでご利用ください。

\* 今回は父の樹会員・ひだまり会員のお手元に振込用紙をお届けしています。

すでにお申込みいただいている場合は、よろしくご容赦ください。



# 外出支援を通してメープルリーフがめざしている事

NPO ひだまりメープルリーフ運営管理者 高柳 佳弘

NPO ひだまりでは、移動支援、行動援護といった外出支援サービスに特化した障害福祉サービス事業メープルリーフを運営しています。当法人では、「利用者のより豊かで楽しい生活を実現する」を事業所の基本方針としています。

この実現に向け、外出支援事業所として「お出かけの時間を楽しく過ごし、普段のストレスを発散できるようにする」「次のお出かけを楽しみにして、普段の生活を頑張ってお送りできるようにする」を基本目標にしています。



なぜこれを基本目標にしているかという点、知的・発達障害についての研究・理解が進んできた中、いわゆる行動障害や問題行動とされるものの多くが、以下の流れで起きるとわかってきたからです。

- ・ 周囲の出来事や他者からの言葉や働きかけを本人が『理解』することが難しい。
- ・ 自分の要望や感情、今起きている体調の変化を適切に『表出』することが難しい。
- ・ 自分なりに工夫し、頑張ってお伝えしようとするが、うまく自分の思いが周囲に伝わらない。
- ・ 大きな声や音を出したりすると、周囲が気づき、自分の要望、感情が伝わったと感じる。
- ・ この方法なら周りの人が自分の気持ちを分かってくれれば『学習』する。
- ・ 周りから注意もされるが、他の行動では気持ちが伝わらないので行動を変えられない。
- ・ それ以降、その方法を繰り返し、場合によっては声や音が大きくなっていく。

この流れに対して、どうすれば日々の生活を落ち着いたものに出来るのか、その一番大事な対応が、『環境調整』と現在言われています。上記の例に合わせるのであれば、

- ・ 本人の『理解』できる範囲と、伝わりやすい方法を模索する。
- ・ 要望、感情、体調の変化が伝わる『表出』と一緒に学び、練習する。
- ・ 自分の要望、感情が、大きな声や音を出さなくても伝わると『学習』する。
- ・ 不適切な行動をする必要がなくなり、注意されることも少なくなっていく。

周囲が本人を理解し、どうするとお互いの気持ちややってほしいことが伝わるのか、様々な道具や動線整理なども含まれますが、対応全体を環境ごとに調整するため、環境調整と言われています。

日々の生活の支援を担当していない外出支援事業では、本人の楽しみ、喜びを知って、一緒に分かち合う外出を行うことで、この『理解』や『表出』の部分をしっかり補助し、環境調整の1つとして、生活の中での楽しみの確保を行っています。

障害をお持ちの方は多くの「やりたいこと」を止められる世界に生きており、多くの「やりたくないこと」をやらなくてはならない世界に生きています。

この多くの我慢をする上で、楽しみの確保とは生活の張りであり、先の見通しの重要な節目ともなる大事なものです。



こういった活動を続けていられるのも、ご利用いただいている皆様が笑顔で帰って来てまた使おうとしてくださること、そして長年賛助いただいている皆様のお力添えのおかげです。

いつもありがとうございます。そして、これからも楽しく一緒に外出を続けられるよう、スタッフ一同、全力を尽くしていきます。